どんなカタチ?あなたの暮らし、

Artist Collective Fuchu [ACF]



あなたの世界をのぞいてみると

この穴から、

1

# 2015

市民団体 Artist Collective Fuchu 設立



#### 「暮らしと表現の芸術祭 フェット FUCHU TOKYO 2016 12月1日~12月18日

平成 28年度府中市市民提案型市民活動支援事業。美術館や ギャラリー、作家アトリエなど 29カ所の拠点を結んで行われ た芸術祭は、多くのアーティストやアート関係者が府中市内に

いることを市民が知るきっかけとなった。キック オフ/オープニング/クロージングなどの関連イベ ントも開催し、まちの人たちに交流をもたらした。

#### フェットーク

「フェットーク」は、アートに関わる専門家の話 を聞く ACF の企画。団体としての方向性、街づ くりや社会問題とアートの関係など、多角的に 学ぶ機会となった。



A C F

創設、

「東京ア

トポイント計画」

^

の参入

芸術祭パンフレット「フェット地~図」1万部発行。 ホームページ開設 https://www.fetetokvo.com/ Facebook、Twitter、Instagram 開設 @fete fuchu tokyo

#### フェットツアーズ

府中のアートな場所をめぐるツアー。会場を訪ねるだけでなく、着物で参加する、地元の 特産を紹介するなど、各ツアー企画者ならではの特徴があり、地域をより深く知るきっ かけとなった。参加者同士のネットワークも広がり、多くの人とのつながりが生まれた。

# **Artist Collective Fuchu**

ある人々が集まるネッ 東京都府中市を中心に、 Ρ 0 法 人 ア ティスト・ 「表現」や「ア コレクティ ヴ・フチュ わたしたち 」に関心の ウは、

日々を創造的なまなざしで見つめたいと考えてい は暮らしに近いこの地にて、 府中市は東京の西側、 イベントの開催や、 郊外の住宅地です。 メディアを通した情報発信 せわ しなく過ぎていく 、ます。

自分の思考や感覚をカタチにして伝え合う場づくり。 土壌づくりを目指します。 そして異なる視点に触れ、 アーティストのみならず職種も年齢も多様なメンバ お互いの違いを尊重できる

もが自由に表現できるまち」にしたい。

たちの原動力です。

自分たちの住むまちを、

より魅力的で生きやす

まちの

機会となるワー

クショップの実施など、

「表現活動」を促進しています。

東京アートポイント計画の一環として 2018年に NPO法人化し始動したプロジェクト 「Artist Collective Fuchu [ACF]」は、それまでの ACFの団体としてのあゆみを振 り返りつつ、未来に向けた新たな取り組みを、さまざまな人たちと共に進めていく 架け橋とするために本冊子を制作しました。

生活の中にアートや表現が浸透して、息の長い市民の活動となるように、地域のパー トナー、スペースと連携し、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカ ウンシル東京と共に ACFが事業を展開していきます。

#### 「暮らしと表現の芸術祭 フェット FUCHU TOKYO 2018」

11月12日~12月9日

市内 44カ所、52 の企画が 18 日間で開催された。 会場は前回参加会場に加え、書店、 カフェ、公園、福祉施設など多岐にわたり、作品展示だけでなく子供から大人までを対象 とした参加型の企画も増えた。参加説明会、ジャーナル「折らナイト」、振り返りイベン トなど関連企画も開催。



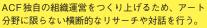


フェットジャーナル vol.1 (1万部発行)・ vol.2(2万部発行、平成30年度府中市市民提案型 ホームページリニューアル https://www.fetetokyo.com/

#### 「東京アートポイント計画」の一環として、 共催事業 Artist Collective Fuchu [ACF] を開始

地域社会に表現を根付かせる活動が長期的に続いていくことを目指す「東京アートポイン ト計画」。そのもとで、ACFはより持続的な活動を行っていけるよう運営事務局の充実を 図った。アートプロジェクトを担う人材の育成や活動基盤の整備を、東京都及び公益財団 法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京と取り組み始めた。







※以下、黄色の部分は東京アートポイント計画との共催事業

#### 「風景と料理~府中編~風景を感じるマルシェ」

1月14日 @ 府中市市民活動センター プラッツ

「風景と食設計室ホー」による、府中の野菜を使った料理 ワークショップ。食を風景・文化・社会の切り口から捉え、 府中独自の風景を五感で堪能する企画となった。府中近 隣のカフェやアトリエによるマルシェと同時開催。 平成29年度協働事業「プラッツと。」対象事業

#### 「le marché de fête 野菜とアート」

2月17日 @大東京綜合卸売センター

出張店舗や作家が「野菜」をモチーフに商品やワーク ショップを持ち寄るアートマーケット。

平成 29年度協働事業「プラッツと。」対象事業



NPO 法人アーティスト・コレクティヴ・フチュウ設立 6月

ACF不定期開催 シリーズ企画① 「ホームムービーの日 in 東京府中 | 3月~

家に眠っている古い8mmフィルムを発掘して 映写機で上映する無料イベント。

ACF 不定期開催 シリーズ企画② 「こどもとおとなの演劇部 未知なる道を冒険する、インプロ(即興演劇) ワークショップ | 3月~

大人と子供が一緒になって行う即興演劇。年齢や 親子などの立場(間柄)を超えて、等身大の人間 として自己と他者を捉えるワークショップ。 オーガナイザー:りょーちん(ロクディム) 平成30年度協働事業「プラッツと。」対象事業





2018





#### Artist Collective Fuchu [ACF] YouTube チャンネル開設 2月

#### Artist Collective Fuchu 「ACF」 かわら版「かみひこうき」

創刊準備号 2020年8月15日号 2500部発行。2021年3月創刊号として3000部発行。

#### 国際交流サロン「DIVE」ディスプレイ制作 9月~

@ 府中市市民活動センタープラッツ 5 階 アーティスト: 小川優紀(grand jete)

#### 「まなばぁーと」 8月~

日常の暮らしの中に表現を見出す、新しい学 びの場。身近なところに視点を向け、当たり 前を解きほぐし、新たな気づきをもたらす。

リサーチ活動

「空き地・空き店舗の活用法 AKITEN」 2020年8月21日 @ 八王子市 講師:及川賢一(NPO法人 AKITEN)

「廃校を使った文化施設の事例 たちかわ創造舎」 2020年9月15日 @ 立川市 講師: 倉迫康介 (たちかわ創造舎チーフ・ディレクター)、陽茂弥 (NPO 法人アー トネットワーク・ジャパン)

「ロジックモデル」 2020年 10月 29日 & 11月 26 日 講師: 竹丸草子(ワークショップデザイナー)

「哲学対話」 2021年2月1日 講師:井尻貴子&清水将吾(NPO法人こども哲学・おとな哲学アーダコーダ)

「レッジョ・エミリアとレミダー 2021年2月18日 講師:石井希代子(イタリア幼児教育実践家)

「リユース・アート・プロジェクト」 2021年3月16日 講師:古屋祥子(山梨県立大学 人間福祉学部准教授)

# 2021

#### 府中市市民提案型協働事業「ラッコルタ - 創造素材ラボ - 」

令和3年度の府中市市民提案型協働事業として採択され、府中市の文化生涯学習課との協 働を開始。

- 1: 府中の企業から廃材を提供してもらい、選別し素材としてアーカイブする。
- 2:アーティスト主導で、素材を用いたアート作品をつくるワークショップを開催する。

地域企業と生涯学習に新たなつながりをつくり、モノ・コト・ヒトの循環、そして創造的 な新しい視点をもたらす企画を目指す。

#### ※黄色の部分は東京アートポイント計画との共催事業

#### 映画上映会「フチュウ・フィルム クロニクル」

1月19日~20日 @白糸台中部公会堂

多摩地域在住の実験映画作家8人による映像祭。

上映作家:内村茂太、山崎幹夫、芝辻ペラン詩子、富永まい、歌川恵子、 馬渕徹、ヤジマチサト士、川口肇(上映順) 空間演出:長峰麻貴

#### 「null - 自由な場所とアートなこと -」

アートを軸に多様なヒトとヒト、ヒトと場所、ヒトとコトの

ネットワークを広げていくオフライン&オンラインのサロン活動。ACF がイベントを実 施してきたスペースを巡回しながら開催し、参加者たちが各回のテーマにまつわるもの を持ち寄る。毎回イメージビジュアル担当のアーティストを選出してアート制作を依頼。



- ・2019年8月25日 vol.1 @ 鴨下酒店&サロン・ド・ カモシタ テーマ: 「音楽 | ビジュアル担当: 鳥田鈴渚
- · 2019年9月21日 vol.2 @life design village FLAT テーマ:「PRINT」 ビジュアル担当:宮山香里
- · 2019年 10月30日 vol.3 @artist-run-space merdre テーマ: 「毒気を感じるけど面白いモノ」 ビジュアル担当:小川優紀
- ·2019年11月24日 vol.4 @COFFEA EXLIBRIS kettle テーマ: 「穴 | ビジュアル担当: 三輪浩光
- ・2020年 1月 19日 vol.5 @ 寿町三丁目公会堂 テーマ:「新年」 ビジュアル担当:西郷絵海
- ・2020年9月11日 vol.6 @ オンライン テーマ: 「こだわりすぎるくらい好きなモノ(コト)」 ビジュアル担当:高嶋英男

#### ラジオ番組 Artist Collective Fuchu presents 「おとのふね」

10月1日初回放送。府中のコミュニティFMラジオ フチューズ 87.4MHz で毎月第1 火曜日の夜 22 時 に放送。ACF に関わるアーティストの活動やイベン ト情報、府中市内にあるアートの拠点などについて、 ゲストを招いてトークする情報番組。過去の放送回 は ACF 公式 YouTube にも公開中。

# 「おとのふね」サウンドロゴを作ろう!

11月30日 @ 大東京綜合卸売センター アーティスト:シーナアキコ



## 府中がもっとおもしろいまちになる



まちは、 や視点を共有する、 もが自分を表現できるまち。 創造的なモノ 日常生活の中で、 となってほしい。 ちにとっても、 きることそのものが それぞれのカタチを受け容れる社会。 もっとおも 自由で開かれたまちであってほし 柔軟で多角的な視点を育む場 多様な思考 しろくなる。 すべて 「表現」である子供たち Ò



あったなら、

と生きやすくなる。



## ロゴマークの由来 「府中から広がる活動」

コト

ヒト

が増えたら、

この

武蔵府中は、各地方につながる街道の交 わる宿場として栄えてきた歴史があり、 情報や文化が広がる中心の場所だったと も言えます。「Artist Collective Fuchu」の 頭文字と街道を合わせ、新旧の歴史と府 中を中心に「誰もが表現できるまち」を 広げていくという想いをロゴマークに込 めました。

ロゴデザイン・吉澤直希



## 多様なACFの仲間たちが あなたの参加を待っています!

「仲間として参加したい」「ACF の活動に ついて詳しく知りたい」「地元企業の立場 で協力したい|「一緒に企画を考えたい| などといったお問い合わせ・ご提案があ りましたら、下記までご連絡ください。

contact@acf-tokyo.com

・パン職人・美術愛好家・美術家・福祉作業施設経営

















平田 誠 ひらたまこと 理事長、おとのふね& YouTube 担当 元サラリーマン 映画ファン、コマ撮り動画マニア



宮川 亜弓 みやがわあゆみ 事務局、広報担当 舞台俳優、府中市美術館併設店舗 「府中乃森珈琲店」経営 https://fuchunomoricoffee.com



宮山 香里 みややまかおり ラッコルタ - 創造素材ラボ - 担当 日本とイタリアを拠点に活動する美術家 http://studioetcetera.com/kaori/ https://blanco.themedia.jp/

## ACF 理事紹介



新井 有佐 あらいありさ 事務局長、会計担当 レストラン「IN VINO VERITAS」経営 https://santgria.jp/



西郷 絵海 さいごう えみ まなばぁーと担当 こどもから大人までアートで人と地域を 元気にする「アトリエ Tutti」主宰 https://art-ist.jp/



田中 麻子 たなかあさこ おとのふね&かみひこうき担当 イラストレーター





民同士をつなげるための拠点をつくり、

ACFは表現することに関心のある市

を増やしていきたいと考えています。 また創造と発想についての学びの機会



## あなたの暮らし、どんなカタチ?

2021年5月31日発行

制作・執筆:NPO法人アーティスト・コレクティヴ・フチュウ(ACF) (府中市市民活動センタープラッツ登録団体)

TEL 080-3424-0025 E-MAIL contact@acf-tokyo.com WEB https://acf-tokyo.com

イラスト:鈴木アサコ 切り絵撮影: 清田大介

刷 : 研究社印刷株式会社

発行:公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 〒 102-0073 東京都千代田区九段北 4 丁目 1-28 九段ファーストプレイス 8 階

TEL 03-6256-8435 FAX 03-6256-8829

集:(株)アンテナ デザイン: ズアン課

#### 東京アートポイント計画

本事業は「東京アートポイント計画」として実施しています。東京アートポイント計 画は、地域・市民が参画するアートプロジェクトを通じて、東京の多様な魅力を創造・ 発信することを目指し、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシ ル東京が展開している事業です。まちなかにあるさまざまな地域資源を結ぶアートプ ロジェクトをアーティストと市民が協働して実施・展開することで、継続的な活動を 可能にするプラットフォームを形成し、地域社会の担い手となる NPO を育成します。

https://www.artscouncil-tokyo.jp/

ター「レミダ」をはじめ、世界各地の「ク ことを重視しています。 クトを目指します。 る媒介ともなっていくようなプロジェ 用な教材となり、 表現活動に取り組む予定です。 じて、子供や大人が素材から発想した ジョ・エミリア市の素材リサイクルセン サイクルにとどまらず、 なったモノが創造的な学習を通じて有 府中市独自の取り組みを実現していき リエイティブリユース」の動きを参考に、 ノを違う視点から捉える機会を与える して新たに活かす仕組みづくりです。 ーティスト主導のワークショップを通 またそれが人を育て 環境を意識したリ イタリア、 身近にあるモ

当たり前を解きほぐす哲学対話やアー

クショップなど、ACFのネッ

れが学びを深めるプロジェクトです。

ある自分らしい表現を見出し、

の生活に視点を向け、身近なところに 新たな取り組み「まなばぁーと」は、日々

での「表現」を考え続けます。 創造的視点を通して、 ・ヒトの循環、 そして暮らしの中 カルなモノ・

元企業に廃材や端材を提供していただ

それらを創造表現のための素材と

習課と市民提案型協働事業「ラッコル

ACFは府中市の文化生涯学

展開していきます。

市内の公共・商業施設を拠点に クを活かした「気づきの場」を提





# Artist Collective Fuchu



